パーソナルデータ憲章

私たち朝日新聞社は、報道・言論活動を原点とする企業として、情報をつなぎ、課題や可能性を明らかにすることで、混沌とした世の中をクリアにすることを目指しています。

みなさまとの対話から新しい価値を共創し、一人ひとりの挑戦を支え、より良い社会への循環を生み出す。その実現のため、みなさまの「パーソナルデータ」を大切に取り扱います。パーソナルデータとは、お名前などの個人情報に加え、みなさまがどの記事を読み、どのようなサービスをご利用になったかなど、個人に関わる情報の総称です。

事業活動は「プライバシーポリシー（個人情報保護方針）」、報道・著述活動は「報道・著述目的で取り扱う個人情報の保護方針」に基づき、適切に情報を取り扱います。

１．みなさまの体験を豊かにします

私たちは、パーソナルデータの活用がより自由で豊かな社会につながると信じています。パーソナルデータを活用し、社会の背景を読み解く手助けや生活を便利にするサービスを提供します。みなさまの興味・関心に寄り添い、多様な価値観に触れる機会や、意義ある情報とめぐり合えるよう工夫します。みなさまの「知りたい」に応え、新たな発見や挑戦を後押しします。

２．みなさまのデータは倫理観をもって管理します

パーソナルデータの特性に応じた管理体制を構築し、倫理観をもって安全性を確保します。パーソナルデータの活用に際し、AI（人工知能）技術も用いますが、最終的な判断と責任は常に私たち人間が担います。

３．みなさまに分かりやすく伝えます

みなさまのパーソナルデータを何のために、どのように利用し、保護するのか。できる限り分かりやすく丁寧にお伝えします。

４．みなさまの意思を大切にします

パーソナルデータを事業活動において取り扱う場合、ご自身のパーソナルデータに関与できる手段を充実させ、みなさまの意思を最大限に尊重します。取り扱いに際しては、みなさまの権利や利益を損なわないよう努めます。

これらの約束を守り、みなさまとの信頼という「つながり」を力に、希望を持てる未来を目指して歩み続けます。

2026 年 4 月 1 日
株式会社朝日新聞社